

株主通信

第73期 中間報告書

2019年1月1日



2019年6月30日

株主の皆様へ



代表取締役社長 鯨坂 司郎

増収、2ケタ増益を達成

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第73期上半期(2019年1月1日～2019年6月30日)の営業概要について、ご報告申し上げます。

当上半期は、当社グループ関連市場であるデジタルカメラ市場において、コンパクトデジタルカメラの大幅減少継続に加えて、レンズ交換式カメラが前年同期比で台数、金額ともに20%以上の減少となり、交換レンズも台数が25%減、金額では13%減となりました。また円高ユーロ安となったこと等により売上高・利益ともに為替のマイナス影響を受けました。

このような状況の下、当社グループの当上半期における経営成績は、特機関連事業が好調に推移したことにより、売上高は290億16百万円(前年同期比1.6%増)と増収となりました。

利益面につきましては、為替のマイナス影響もありましたが、原価低減の推進や自社ブランド交換レンズの新製品が好調に推移したこと等による売上総利益率の改善等により、営業利益は22億52百万円(前年同期比14.9%増)、経常利益は25億49百万円(前年同期比21.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億31百万円(前年同期比21.8%増)と、大幅増益となりました。

配当金について

中間配当金につきましては、当上半期業績や財務状況等を総合的に勘案し、前年と同額となる1株につき25円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年9月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

出展
CP+(シービー・プラス) 2019出展

出展
SECURITY SHOW 2019出展

産業用製品
1/1.2型、5メガピクセルで、
φ29mm小型サイズ、
マシンビジョン用単焦点レンズシリーズ
(Model: M112FM06)を発売

受賞
28-75mm F/2.8 Di III RXD (Model A036)が
世界的に権威のある「TIPAアワード」を受賞
タムロンは6年連続での受賞を達成

写真関連
ポートレートを撮るために誕生したズームレンズ、
35-150mm F/2.8-4 Di VC OSD
(Model A043)を発売

産業用製品
4K/8メガピクセル近赤外光対応標準パリアフォーカル
レンズ、1/1.7型 3.8-17mm F/1.4
(Model: M117VG3817IR)を発売

受賞
28-75mm F/2.8 Di III RXD (Model A036)が
「カメラグランプリ2019 カメラ記者クラブ賞」を受賞

写真関連
タムロンの技術を結集した究極の単焦点レンズ、
SP 35mm F/1.4 Di USD (Model F045)を発売

産業用製品
グローバルシャッターCMOSセンサー搭載
光学30倍ズーム カメラモジュールを発売

産業用製品
メガピクセル近赤外光対応 望遠パリアフォーカル
レンズ、1/2.7型 5-55mm F/1.6
(Model: M13VG555IR)を発売

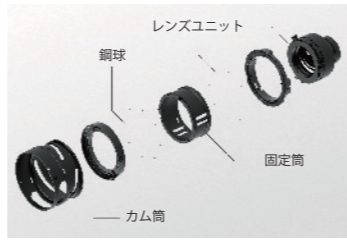


NEW

開発情報

ダイナミックローリングカム機構の開発

大口径など、重たいレンズが配置されているフォーカスユニットを超音波モーター(USD)などで、高速かつ滑らかに動かすため、新たにダイナミックローリングカム機構の開発をしました。カム筒の前後に配置している鋼球を回転させることで、摩擦抵抗を極限まで減らし、快適な操作性を実現しました。また、高温や低温など過酷で厳しい撮影条件下においても、高速で高精度なAF作動が可能となりました。



ダイナミックローリングカム機構模式図

新製品発売

タムロンの技術を結集した究極の単焦点レンズ SP 35mm F/1.4 Di USD (Model F045)を発売

高い設計仕様に基づき高性能・高画質を実現するタムロンのSPシリーズは、発売から40周年を迎えました。タムロンが持つ技術を結集し、「究極の写りを目指すレンズ」として解像力、点像再現性能、ボケ味にこだわりぬいたレンズがModel F045です。タムロンらしいボケ味を踏襲しながらもModel F045というレンズのために、新たなコーティング技術の開発にも取り組むなど、タムロンのものづくりへの思いも込められた史上最高のレンズが遂に完成いたしました。



お知らせ

「タムロン鉄道風景Instagramコンテスト 2019」を開催

2008年より「タムロン鉄道風景コンテスト」を開催し、多くの鉄道ファンに応募して頂いています。最近ではSNSの普及に伴い、Instagramを通じて写真を楽しめる方も増えてきたため、より多くの写真ファンに鉄道写真の楽しさを広める活動の一環として初めて「タムロン鉄道風景Instagramコンテスト」を開催しました。

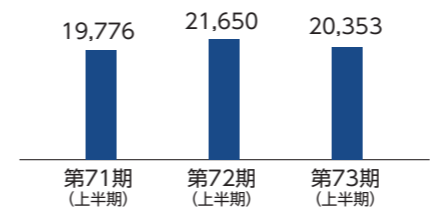


セグメント別事業の概況

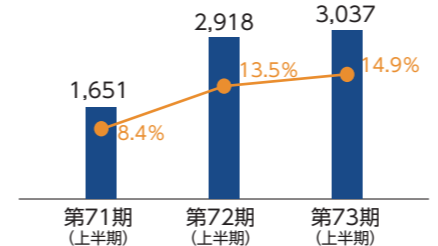
全セグメントで増益を達成

写真関連事業

売上高 (百万円)

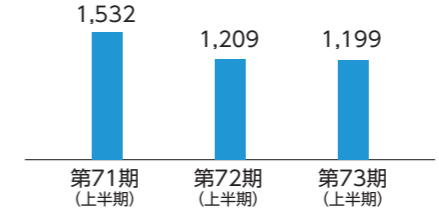


営業利益(百万円)／営業利益率

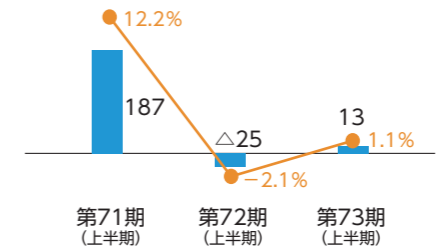


レンズ関連事業

売上高 (百万円)

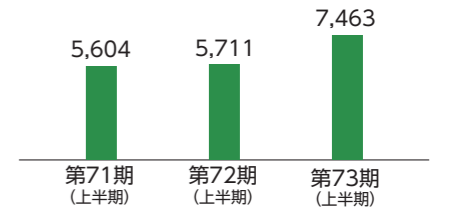


営業利益(百万円)／営業利益率

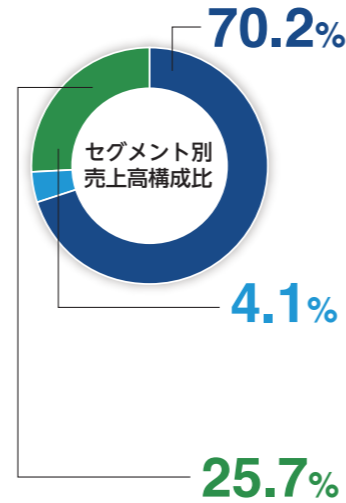
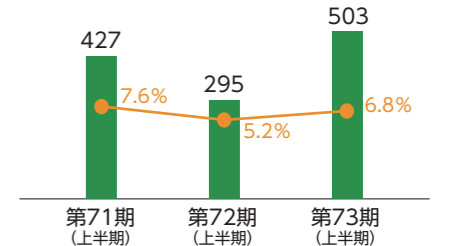


特機関連事業

売上高 (百万円)



営業利益(百万円)／営業利益率



写真関連事業

自社ブランド交換レンズは、2018年に発売した35mmフルサイズミラーレス一眼カメラ対応大口径標準ズームレンズ28-75mm F/2.8 Di III RXD (Model A036)等や、2019年に発売した新製品が売上高に寄りましたが、市場全体の減少影響や為替のマイナス影響等により減収となりました。

このような結果、写真関連事業の売上高は203億53百万円(前年同期比6.0%減)となりましたが、自社ブランド交換レンズの新製品が好調に推移したことによる利益率向上により営業利益は30億37百万円(前年同期比4.1%増)と増益となりました。

レンズ関連事業

コンパクトデジタルカメラ用レンズやビデオカメラ用レンズが減収となりましたが、ドローン用レンズは受注機種数の増加により増収となりました。

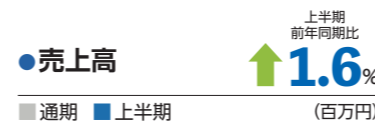
このような結果、レンズ関連事業の売上高は11億99百万円(前年同期比0.8%減)と前年同期並みの売上高水準を維持し、営業利益は13百万円(前年同期は営業損失25百万円)と営業黒字へと転換しました。

特機関連事業

車載用レンズが市場の成長に伴い2ケタ増収となり、監視やFA/マシンビジョン用等の産業向けにおいても、先進国向けを中心に好調に推移したことに加え中国向けでも販売を伸ばしたことや、カメラモジュールの販売が2018年第4四半期から本格化したこと等により2ケタ増収となりました。

このような結果、特機関連事業の売上高は74億63百万円(前年同期比30.7%増)、営業利益は5億3百万円(前年同期比70.3%増)と大幅な増収増益となりました。

連結財務ハイライト



最新情報

新製品紹介

大口径F/2.8、フィルター系φ67mmを達成
クラス最小・最軽量※、ミラーレス用
超広角ズームレンズ新発売

17-28mm F/2.8 Di III RXD
(Model A046)



受賞

2機種同時受賞 14年連続EISAアワード受賞達成
35-150mm F/2.8-4 Di VC OSD
(Model A043)



17-28mm F/2.8 Di III RXD
(Model A046)



※35mm判フルサイズ対応のデジタル一眼カメラ用F/2.8より明るい超広角ズームレンズにおいて、(2019年5月現在、タムロン調べ)

会社概要

商号 株式会社タムロン
 創業 1950年11月1日
 設立 1952年10月27日
 本社 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
 資本金 69億23百万円

役員

代表取締役社長 鯨坂 司郎
 取締役副社長 桜庭 省吾
 取締役副社長 阿保 正行
 専務取締役 川鍋 宏
 常務取締役 増成 弘治
 常務取締役 北爪 泰樹
 取締役 大塚 博司
 取締役 張 勝海
 取締役 大谷 真人
 取締役 岡安 朋英
 取締役 佐藤 勇一*
 取締役 片桐 春美*
 常勤監査役 手塚 努
 常勤監査役 平山 隆志*
 監査役 利根 忠博*
 監査役 奈良 正哉*

注1. *印の取締役は社外取締役、監査役は社外監査役であります。
 2. 当社は、取締役 佐藤 勇一、取締役 片桐 春美、監査役 平山 隆志及び監査役 奈良 正哉を東京証券取引所の定める独立役員として、同取引所に対し届け出ています。

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月
 基準日 定時株主総会 毎年12月31日
 期末配当 毎年12月31日
 中間配当 毎年6月30日
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 (電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 ※ 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
 公告方法 電子公告 ※ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
 当社ホームページ <https://www.tamron.co.jp>

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ソーシャルメディア 公式アカウント

Twitter <https://twitter.com/TamronJP>
 タムロン製品・サービスに関する最新情報やイベント情報、企業情報など幅広い情報をいち早くお届けします。

Facebook <https://www.facebook.com/tamron.highpowerzoom>
 写真レンズに関する製品情報、最新のHPコンテンツ紹介、フォトコンテストや各種イベント・キャンペーン情報を発信しています。

Instagram <https://www.instagram.com/tamronjp/>
 タムロンレンズで撮影された写真をアップしていきます。ユーザー参加型のイベントの他、#tamronを付けて投稿頂いた写真には積極的にいいねさせていただきます。

YouTube <https://www.youtube.com/user/tamronpr>
 CSR活動や、タムロンのものづくり、写真家による製品レビューなど、タムロンの取り組みを動画で発信しています。

株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式の総数 25,950,000株
 単元株式数 100株
 株主数 4,427名 ※単元未満除く

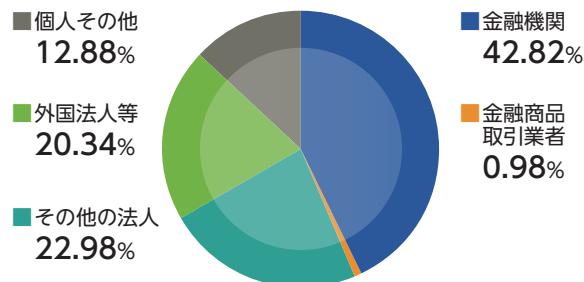
■大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率
株式会社ニューウェル	4,898	18.89%
ソニー株式会社	3,129	12.07%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,859	7.17%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,138	4.39%
株式会社埼玉りそな銀行	1,122	4.33%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	903	3.48%
日本生命保険相互会社	580	2.23%
GOVERNMENT OF NORWAY	506	1.95%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	346	1.33%
シチズン時計株式会社	300	1.15%

注. ソニー株式会社の持株数3,129千株は、みずほ信託銀行株式会社へ委託した信託財産であります。信託約款上、議決権の行使並びに処分権については、ソニー株式会社が指図権を留保しております。

■株式所有者別分布

※単元未満除く



ホームページのご紹介

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、商品のご紹介からIR情報に至るまでの様々な情報を掲載しています。ぜひご活用ください。

主な掲載コンテンツ

- 企業情報
- 製品一覧
- CSR情報
- 採用情報

- IR情報
- サポート・ダウンロード

コーポレートサイト

URL <https://www.tamron.co.jp>



フォトサイト (写真レンズ用フォトサイト)

URL <https://www.tamron.jp>



株式会社タムロン

〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
 TEL 048-684-9111(代) FAX 048-683-8289 <https://www.tamron.co.jp>
 ■ IR情報関連に関するお問い合わせ：経営企画室
 TEL 048-684-9114(午前9:00~午後5:20) FAX 048-683-8282
 e-mail : kabushiki@tamron.co.jp



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



本冊子は環境保全のため、植物油インキで印刷しています。